

# 春の叙勲瑞宝小綬章 藤村楠正氏受章

平成十八年春の叙勲で、元仁淀村長の藤村楠正さん（七十七歳・梶屋敷）が、地方自治功勞により瑞宝小綬章を受章され、六月十日には、仁淀多目的研修集会施設で受章祝賀会が盛大に行われました。

藤村さんは昭和二十二年に高知県庁に奉職以来、三十八年余にわたり公務に精励され、総務部副部長、企業局長、保健環境部長など要職を歴任、地方自治の発展に寄与されました。

## 仁淀村長

## 人生の集大成

仁淀川町 発足に大きく貢献され、合併後は仁

平成十七年七月まで仁淀村長として、村の立地条件を生かした緑茶生産推進等の農林業振興、農林道の整備や国道439号の改良等村内道路網の

淀川町長職務執行者として、初代町長に新町の事務運営を円満に引き継がれました。



## 受章祝賀会

受章祝賀会は、祝賀会発起人会（代表・大野孝一）の主催で開催され、藤崎富士登町長や県議会議員ら来賓と、ご家族や地域の方々など約百五十人が出席し藤村さんの功績をたたえました。

藤村さんはあいさつで「受章は私一人の力ではなく皆さんのご協力があったのものです。平成十年に村長として仁淀村に帰ってからは、人生の集大成であり大変意義深い七年間でした。村長として懸命に勤めた、その結果が認めら

れたと思います」と受章の喜びを述べていました。



お孫さんからお祝いの花束を受け取る藤村ご夫妻

## 略 歴

昭和	22年3月	高知県庁入り
	52年4月	同 病院局管理課長
	54年4月	同 総務部人事課長
	55年4月	同 総務部知事公室長
	56年4月	同 総務部副部長
	57年4月	同 企業局長
	59年4月	同 保健環境部長
	60年3月	高知県庁退職
	60年4月	高知県住宅供給公社理事長
	63年3月	同公社任期満了退職
平成	10年2月	仁淀村長就任
	17年7月	同村長退任
	17年8月	仁淀川町長職務執行者就任
	17年8月	同職務執行者退任

シルバー人材センター設立

シルバー人材センターは、おおむね六十歳以上の方で、臨時的・短期的な就業、または軽易な継続的就業を希望される方々の組織です。

このたび会員数五十一人で「仁淀川町シルバー人材センター」が設立、六月二十二日に設立総会が行われました。

今年三月、町社会福祉協議会の理事や監事らが委員となり、シルバー人材センター設立発起人会を設け、設立に向け協議をするとともに会員を募集し、この日を迎えました。

設立総会は藤崎富士登町長、岸野信之高知県シルバー人材センター連合会常務理事ら来賓や会員、関係者ら約六十人が出席して、基幹集落センターで行われました。

会では、町長から「町の大きな活力となるシルバー人材センター、お互いが助け合い明るい社会を築くものと期待する」と祝辞があり、続いて設立趣意書、定款、平成十八年度事業計画および予算などが審議、承認されました。

お気軽にご利用ください。  
また、あなたも会員になってみませんか？

シルバー人材センターでは、熟年者にあったさまざまな仕事を引き受けています。公園、屋内外の清掃、草刈り、農作業の手伝いや福祉・家事援助サービス、また障子・ふすまの張り替えなどの軽易な仕事を比較的 low 料金で取り扱っていますのでご利用ください。また会員も募集しています。お気軽にお問い合わせください。

問い合わせ先  
仁淀川町社会福祉協議会  
☎ 35・0207



設立総会

仁淀川町青少年健全育成協議会設立

会長以下役員は次の方々になりました。

会 長	黒 川 武 志
副 会 長	農 本 規 仁
〃	竹 村 雄 幸
運 営 委 員	林 和 夫
〃	片 岡 富 士 子
〃	宇 賀 孝 敏
〃	岡 田 勉
〃	若 藤 仁
〃	品 原 信 介
監 事	大 石 敏 明
〃	岡 崎 友 則

5月19日、中央公民館で「仁淀川町青少年健全育成協議会設立総会」が開催されました。

昨年8月の町村合併以降、旧3カ町村の青少年育成村（町）民会議役員を中心に設立準備会を立ち上げ、会議を重ねてこの日を迎えました。

総会には藤崎富士登町長をはじめ、橋本眞一町議会議長、大野敏光教育長をお招ねきし、40人の出席のもと議案が審議され、すべてが承認されました。



総会の様子

# 東西南北まわり舞台

6月4日、長岡・土佐・吾川郡と高知・南国市の文化サークルなどをつくる中央地区文化協会が毎年開いている「東西南北まわり舞台」が、大川村の大川中学校で行われました。

郷土の芸能愛好家が自慢の芸を披露するこの舞台に、本町からも歌謡、民踊、剣舞などに約50人が出演し、日ごろの練習の成果を披露、観客から大きな拍手が送られていました。

## 自慢の芸披露



歌謡



民踊



剣舞

## お年寄りと小学生交流

和田吉弘教頭は「お年寄りといきました。座ったお年寄りに指導してもいいながらめきめき上達していきました。」

十三日は五・六年生十三人が竹ひごに紙の花をつけるための、こよりに挑戦しました。こよりは初めてで「難しい！」という声があちらこちらから聞こえてきましたが、せいらいん荘職員や一緒のテーブルに座ったお年寄りに指導してもらいながらめきめき上達していきました。

六月十三・二十・二十三日には長者小学校の児童が「総合的な学習の時間」を利用して、せいらいん荘を訪問、作業のお手伝いをしました。

デザイナービスセンターせいらいん荘では、茶霧湖まつりのやぐらを飾る花作りを例年行っており、今年も八月十六日（水）の祭りに向けて、利用者が作業に精を出しています。

## 『茶霧湖まつり』の花作り

この交流で普段できない学習ができる」、お年寄りは「子どもと一緒に楽しい。みんな上手に作るねえ」、児童は「こよりをここで覚えて家でも作ってみたい」と話していました。

花（竹ひご）は約六百本作るそうです。お年寄りと児童が心を込めて作った花が祭りに彩りを添えます。

## 山村自然楽校「しもなの郷」 なんでも市



大盛況のなんでも市

6月18日、「しもなの郷」で、山の「なんでも市」が開催されました。

木のこっばや木工品、山野草、ミニ盆栽、野菜など山にあるもの、山で作ったものの展示販売のほか、フリーマーケットも開かれ、町内外から訪れた大勢の人が買い物を楽しんでいました。



児童は初めてこよりに挑戦

# 地域懇談会

## 十五会場で三百七人

四月六日から五月三十日まで、十五会場で地域懇談会を開催し、延べ三百七人の方に参加していただきました。

役場からは藤崎富士登町長、大石弘秋助役、大野敏光教育長、片岡廣秋企画課長や

関係職員のほか、本年度から配置される地域担当職員も出席しました。

会では町長あいさつ、職員の自己紹介に引き続き、昨年十二月に行われた住民アンケートの集計結果を企画課長が説明しました。



住民と意見交換（用居地域）

この後、意見交換を行い、参加者から地域の問題や日常生活での要望などが出されました。この意見や要望は集約、検討して町政に反映するよう努めていきます。



地域担当職員（名野川地域）



町長あいさつ（森・川渡・高瀬地域）

## 懇談会ではこんな声をいただきました

- 池川地域でも学童保育を実施して欲しい
- 小中学校の統合は考えているのか？
- 仁淀高校の統廃合問題はは怎么样了のか？
- 次期の町村合併については、どう考えているのか？
- 水道料金の領収書の送付は郵送料がもったいない。やめたらどうだろうか
- もっと詳しい行政情報が欲しい
- 町ホームページの充実を
- 町の職員数が多いのでは
- 町職員の適材適所への配置と適正な評価を行い、将来有望な職員を延ばして欲しい
- 通院のための足の確保を考えて欲しい
- バスの乗り継ぎの利便性向上を
- 独居老人のケアなど高齢者対策の充実を図って欲しい
- 雇用の場を確保して欲しい
- 森林資源の有効活用を考えて欲しい
- 高速情報通信ができる環境の整備を
- 防災行政無線の整備を
- 有害鳥獣（猿など）による被害について何か有効な対策はないものか
- 国道33号は連続雨量250ミリで通行止めになるが、国土交通省に基準緩和等の要望をして欲しい